

農林漁業のうごき

京都府 No.181 平成29年 ふゆ号

～宇治茶博@産業・国際交流が開催されました～



(12 ページに関連記事)

主な内容

- 特集 1** 農林水産業功労者・農山漁村伝承優秀技能・若手農林漁業者が表彰・認定されました…………… 2～3
～平成29年度 京都府農林水産フェスティバル表彰式典～
- 特集 2** 平成29年秋 叙勲・褒章受章者の紹介…………… 4
- 特集 3** 「豊かな森を育てる府民税」を活用した森づくりの新たな取組が進んでいます…………… 5
- 特集 4** 平成29年度 新規アクションプランを策定しました…………… 6～7
- トピックス** 平成29年度 京の食6次産業化コンテスト入賞商品が決定！／ポスト育樹祭事業「森林の恵み感謝祭」を開催！… 8
／水産関係施設の災害・防災対策に取り組んでいます！
- シリーズ** 農林水産技術センターへようこそ 第5回 畜産センター／海洋センター…………… 9
- 地域の取組** 移住者の丹後らしい暮らしを実現するために～丹後移住・定住推進会議（チーム丹後）の開催～… 10～11
府内初！「万願寺甘とう」が地理的表示（GI）保護制度に登録！
集落ぐるみで「集落診断カルテ」づくり～南丹地域野生鳥獣被害対策診断チーム始動～
5,000人がお茶のテーマパークを堪能！～へうげもの茶宴 in みかのはら（木津川市）～
行事食を彩る「春の七草」
- シリーズ** 世界に誇れる宇治茶の魅力 第5回 宇治茶の新たな展開を目指して…………… 12

特集
1農林水産業功労者・農山漁村伝承優秀技能・
～平成29年度 京都府農林水産

11月25日（土）、京都市伏見区の京都パルスプラザにおいて、京都府農林水産フェスティバルが開催されました。営改善や農山漁村の活性化に意欲的に取り組む若手農林漁業者の皆さんの表彰を行いました。また、同時に、技能認定の認定式も行いました。

✿農林水産業功労者表彰✿

(敬称略)

経営改善に取り組み、他の模範となり農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

芦田ヒサ子／京都市	久保 敏隆／京都市	山田 良介／京都市	井内 英樹／宇治市
中嶋 純次／向日市	石田 祝子／長岡京市	石田 光則／八幡市	福井 靖／木津川市
上田 博久／久御山町	脇田 勝行／宇治市原町	西山 和美／和束町	松本 正尚／亀岡市
岸上 進／南丹市	吉田 淳／京丹波町	芦田知恵彦／福知山市	三崎 要・暢子／福知山市
井上 和志／綾部市	塩見 淳／綾部市	白波瀬和也／綾部市	品川 泰志／宮津市
中井 敏博／京丹後市	能勢 良子／京丹後市	山本 孝市／与謝野町	
有限会社オアシスランド／京丹波町	株式会社みとけ／京丹波町		
農事組合法人遷喬ふぁーむ／福知山市	株式会社ひらばやし農産／京丹後市		

新品種開発・新事業開拓に取り組み、農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

島 義實／大山崎町	鷓ノ口承太郎／久御山町	吉川 倫子／久御山町	奥林 忠昭／精華町
山本 光夫／南丹市	農事組合法人京丹波ほたるの里／京丹波町		

女性の地位向上のための活動に取り組み、農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

永井 節／京都市	二ノ倉順子／伊根町	株式会社八百一の郷／京都市	ふたばグループ／綾部市
----------	-----------	---------------	-------------

団体の役員として団体の発展とともに農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

安平治勝美／京都市	大西 雷三／京都市	辻井 重／京都市	畠山 啓一／京都市
北村泰治郎／城陽市	田村 勝美／城陽市	田中 豊次／笠置町	川崎 貞治／精華町
佐野 博行／亀岡市	奥村 安治／南丹市	柿迫 義昭／南丹市	八木 悟／南丹市
清水 弘司／福知山市	横山 宏章／福知山市	河田 勝臣／舞鶴市	橘 幸弘／舞鶴市
金久 光男／京丹後市	川井 芳雄／京丹後市		

農山漁村における地域資源を活用した活動に取り組み、農山漁村の活性化に顕著な貢献をした方々

吉田 和雄／京丹波町	池田香代子／京丹後市	由利 進／京丹後市
天王ライスセンター／京田辺市	農事組合法人千ヶ畑営農組合／亀岡市	
農事組合法人木喰の郷もろはた／南丹市	J A 京都にのくに「彩菜館」東舞鶴運営協議会／舞鶴市	
新庄小豆生産組合／綾部市	里波見カントリーフレンズ／宮津市	
宇川加工所／京丹後市	有限会社新井崎水産／伊根町	

農政課 総務担当 TEL : 075-414-5653

若手農林漁業者が表彰・認定されました フェスティバル表彰式典～

この中で、多年にわたり、府内の農林水産業及び農山漁村の振興と発展に功労のあった方々や団体、農林水産業の経農山漁村において伝統的に受け継がれてきた生産・生活技能に優れた方々を「匠」として認定する農山漁村伝承優秀

＊農山漁村伝承優秀技能認定＊

(敬称略)

農山漁村において伝統的に受け継がれてきた生産・生活技能に優れた方々

【農の匠】

音川 次清／京都市
柴田 光貢／向日市
長砂廣一郎／京丹後市

村田 治夫／京都市
高倉 清／綾部市
杉本源之進／与謝野町

【海の匠】

尾瀬 登／京丹後市

流通・ブランド戦略課 研究普及担当 TEL：075-414-4968

＊若手農林漁業者表彰＊

(敬称略)

農林水産業の経営改善等に取り組み、地域の担い手として期待される方々

佐々木陽一／京都市
山内 宗／京都市
小林 賢礼・若菜／木津川市
中川 高志／精華町
中西 文彦／南丹市
勝田 裕之／福知山市
西山 和人／綾部市
米田 督史／京丹後市

戸田 尚樹・永理／京都市
今村 正喜・美幸／宇治市
嶋村 允紹／木津川市
桂 誠志／亀岡市
堀田 千絵／京丹波町
北山 慶成・節子／福知山市
関 丈晴／宮津市
三野 牧人・恵理子／伊根町

藤井 達朗／京都市
太田 健一・雅世／木津川市
細井 堅太／和束町
黒田 真紀／亀岡市
安岡 啓史・知佳／京丹波町
松岡 広司／舞鶴市
池口 裕己／京丹後市
杉原 良／与謝野町

経営支援・担い手育成課 新規就業・人材育成担当 TEL：075-414-4912

受賞者からひとこと

京都府農林水産業功労者表彰 大西 雷三様

今回の受賞を糧に、今後も世界一おいしい京都の和牛を、生産者の思いとともに世界中の皆様へ届け、生産者の励みとなるよう取り組みます。



京都府若手農林漁業者表彰 佐々木 陽一様

森林組合での取組が認められ受賞したことは大変光栄であり、今後も地域林業の発展に貢献できるよう精進します。



特集
2

平成29年秋 叙勲・褒章受章者の紹介

平成29年秋、京都府で長年農林水産業に従事してこられた方々が、旭日双光章、黄綬褒章を受章されました。この度受章された、仲道 俊博さん、林 善嗣さん、内田 隆さん、木曾 則雄さんをご紹介します。

なかみち としひろ
仲道 俊博さん

現 京都府農業協同組合中央会 副会長
現 京都丹の国農業協同組合 代表理事組合長

農家の長男として生まれ、望んで農業協同組合の職に就き50年の節目を迎えた今日、身に余る栄誉に接しこの上ない喜びです。

J Aの組合員、役職員そしてJ Aグループ京都や行政関係の皆様のご支援、ご指導の賜物と心得、地域農業の振興や豊かな地域社会づくりに微力を尽くして参る所存です。
(御功績)

京都府農業協同組合中央会副会長、京都丹の国農業協同組合の代表理事組合長等の要職に就かれ、卓越した指導力で、「万願寺甘とう」等をはじめ、地域特産物の育成強化に努められるほか、京野菜等の世界ブランド化を推し進めるなど、J Aグループ京都のリーダーとして、農業の発展に寄与されました。

旭日



はやし よしつぐ
林 善嗣さん

現 (一社)京都府農業会議 副会長

農業は生きがい。工夫と創造を重ね良い作物ができてお客様が喜んでいただけると嬉しくなります。今回の受勲を励みに、これからも「遊休農地対策」、「担い手の育成」などの地域農業の発展に貢献できるように努めてまいります。
(御功績)

京田辺市農業委員や(一社)京都府農業会議副会長等を歴任、「茶担い手育成塾」、「京田辺茶園バンク」の創設や、将来の特産物を生み出すモデル事業の展開により、全国農業会議会長賞を受賞されるなど、農業の担い手不足による耕作放棄地の発生予防に大きく貢献され、農業の発展に寄与されました。

旭日



うちだ たかし
内田 隆さん

現 京都青果合同(株) 代表取締役社長

この度の受章は、ひとえにお取引先や卸売市場関係の皆様方のお陰であり、心より御礼申し上げます。今後も、「食の総合流通サービス企業」を目指し、安心安全な青果物の安定供給と日本の素晴らしい食文化の継承に努めてまいります。
(御功績)

京都青果合同(株)の代表取締役社長として、生鮮食料品等を安定供給する京都市中央卸売市場の先導的な立場で、産地や仲卸、小売業界と協力して「京野菜」のPRに積極的に取り組み、生産地の拡大に貢献されるとともに、青果物を通じ日本の素晴らしい食文化を継承する食育を推進されるなど、農業の発展に寄与されました。

黄綬



きそ のりお
木曾 則雄さん

現 (有)木曾精肉店 代表取締役

これまで亀岡産和牛「亀岡牛」一筋で取り組んでまいりました。今回の受章は、この上ない名誉であり生涯忘れることのない感激と感謝に堪えないところでございます。これまで支えていただきました「亀岡牛」の消費者、生産・流通に関わる全ての皆様方に対し心よりお礼を申し上げます。今後も、さらに精進を重ねて亀岡市の地域産業「亀岡牛」の発展に努めてまいります。
(御功績)

46年の永きにわたり食肉販売業に精励され、品質の良い牛肉を見極める選畜眼と熟練の食肉加工技術により、地域で生産された最高の和牛肉を消費者に提供されるとともに、「亀岡牛」ブランドを立ち上げから先導され、販路拡大に努め、ブランド力向上に多大な貢献をされるなど、畜産業の発展に寄与されました。

黄綬

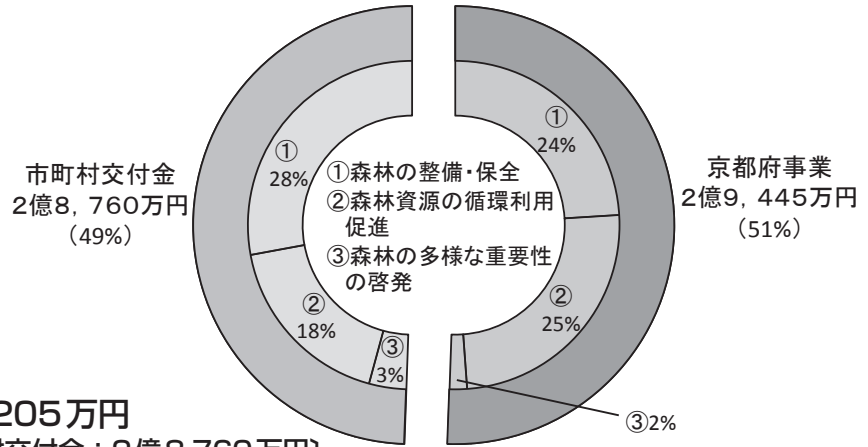


特集
3

「豊かな森を育てる府民税」を活用した森づくりの新たな取組が進んでいます

平成28年度「豊かな森を育てる府民税」実績額内訳

京都府では、森林が本来持っている多面的機能を守り育て、より豊かなものとして次世代に引き継ぐために、平成28年度に「豊かな森を育てる府民税」を創設しました。流木災害対策などの府事業とともに、税収の半分を市町村に交付し、各地域の課題に応じた取組を進めています。その事業成果を紹介します。



平成28年度実績額 5億8,205万円
 【府事業：2億9,445万円、市町村交付金：2億8,760万円】

① 森林の整備や保全を進めるための事業 [3億240万円]
 【府事業：1億3,988万円、市町村交付金：1億6,252万円】

流木災害の未然防止や保安林の森林機能向上を目指す安心・安全の森づくりをはじめ、府民参加型の里山整備などの取組を行っています。

- ・未来へつなぐ安心・安全の森づくり事業 45件
 (地域住民による危険木の撤去等を支援)
- ・府民参加型里山ふれあい事業 65件
 (荒廃した里山の整備を府民公募により実施)
- ・伝統工芸の森プロジェクト 2件
 (漆の産地化を推進)
- ・健やかな森林づくり事業 3件
 (広葉樹、花粉の少ないスギ等の植栽等を支援)
- ・豊かな森を育てる府民税市町村交付金事業 32件



木製流路工による流木対策 (京丹波町)

② 森林資源の循環利用を進めるための事業 [2億4,867万円]
 【府事業：1億4,463万円、市町村交付金：1億404万円】

府内産木材を活用した木造の民間施設整備の支援や、木製品の開発支援、公共施設の木造化・木質化など、森林資源の活用による環境にやさしい持続可能な社会づくりを推進しています。

- ・府民利用施設等木質化事業 32件
 (公共施設等の内装木質化・木製品の導入)
- ・公募型木のまちづくり推進事業 14件
 (保育園等民間施設における府内産木材の利用促進)
- ・木材6次産業化事業 6件
 (新たな木の文化の魅力をPRする木製品等の開発の支援)
- ・環境にやさしいウッドマイレージ認証木材推進事業 7件
 (従来の木造住宅棟の建築支援に加え、北山丸太等の利用や多子世帯への補助額の引き上げ)
- ・豊かな森を育てる府民税市町村交付金事業 27件



府民ホールへの木製品導入 (宇治市)

③ 森林の多様な重要性について府民の理解を深めるための事業 [3,098万円]
 【府事業：994万円、市町村交付金：2,104万円】

林業女子交流会や森林教室の開催など、京都の森林の素晴らしさを再認識し、次代に伝えていくための取組を進めています。

- ・京の森と木魅力発信事業 21件
 (林業や木の文化を発信するためのイベントの開催等)
 - ・豊かな森を育てる府民税市町村交付金事業 12件
- 森の働きを学習する森林教室 (丹波広域基幹林道沿線)



—京都の強みをいかした農林漁業の 平成29年度新規アクション

京都府では、京都の強みをいかした農林漁業の振興と、地域の絆を育む農山漁村の活性化を図るため、府民の皆さんプランについて、その概要を紹介します。

農村コミュニティ強化アクションプラン ～地域内外の人々が地域を再構築する「連携協働型農村コミュニティ」づくり～

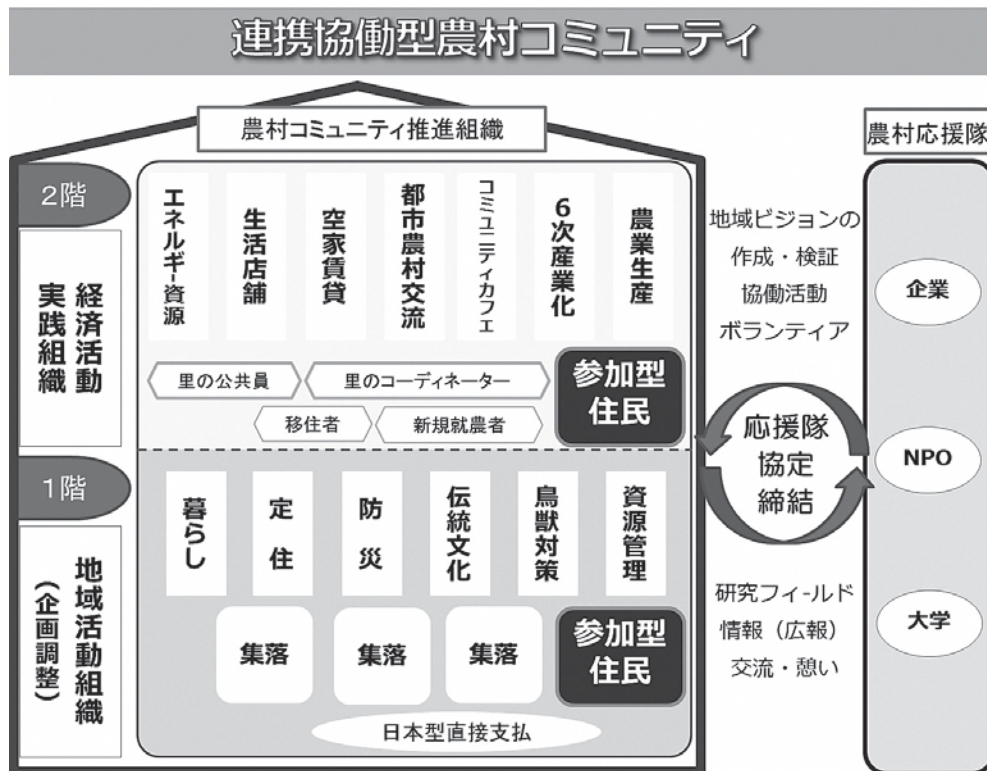
農村地域では、過疎・高齢化、次世代の担い手不足がより早く進行しており、空家や耕作放棄地の増加、協働作業の減少など、コミュニティそのものの存続が危機に陥りつつあります。このため、本プランでは、持続可能かつ自立的な農村コミュニティの構築をめざし、地域の外からの協力も得ながら取り組んでいく対策をとりまとめました。

I 地域活動と経済活動を担う「農村コミュニティ推進組織」の構築

- 地域の危機感や現状認識を共有し、住民自らが課題に取り組む意識を醸成
- 地域の維持・活性化を図るための地域活動や企画調整、さらには、生活店舗や直売所の運営などを含め、地域の生活基盤を持続的に支える「農村コミュニティ推進組織」の設立と法人化を支援
- 地域活動の効率化を促す ICT 等新技術の導入を支援（モデル地域）
- 他地域との交流・情報交換により、地域活性化のためのノウハウを共有

II 地域外の多様な組織・人材の取り込み

- 地域に不足する知識やスキルを補完し、地域ビジョンの策定や実現に向けた活動・検証をサポートするため、企業、大学、NPO 等、地域外の組織との「農村応援隊協定」の締結を支援
- 「農村コミュニティ推進組織」の一員として、地域イベントの企画・運営や農業用施設の維持・管理など協働活動へ参画する「参加型住民」（地元出身者や地域のファンなど）の取り込みを支援
- 「農村応援隊」や「参加型住民」の掘り起こし、地域とのマッチングを行う「農村コミュニティ協働支援センター」を設立



※参加型住民とは、地元出身者、地域のファン、移住希望者等を想定

農村振興課 里力再生担当 TEL : 075-414-4906

振興と農山漁村の活性化に向けて— アクションプランを策定しました

のご意見を反映しながらアクションプランを策定し、課題解決に取り組んでいます。今年度新たに策定したアクション

京の木生産・利用倍増アクションプラン

京都府内の森林（人工林）の約7割は、木材としての利用に適した時期を迎えており、これらを資源として循環利用していくために、製材用、合板用、チップ用など多様な用途に応じて木材を安定的に供給していくことが求められています。このため、本プランでは、低コストかつ安定的な木材生産の推進と木材需給情報の「見える化」によって、必要な品質・量の木材をタイムリーに供給できるマーケットイン型の木材供給体制を構築するための対策をとりまとめました。

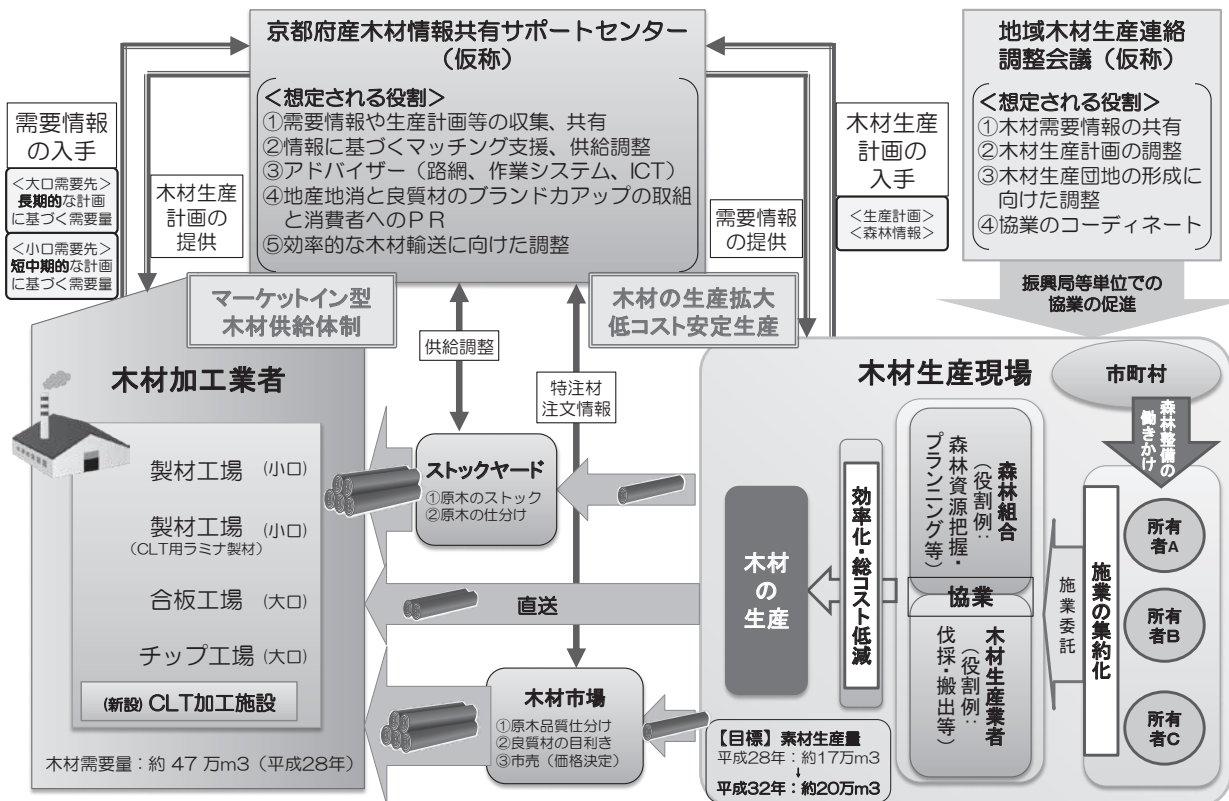
I 低コスト化による安定的な木材生産体制の構築

- 地域の森林組合や木材生産業者、行政など関係者が参画する「地域木材生産連絡調整会議（仮称）」を設置し、需要情報と木材生産計画を共有することによって、木材生産団地の形成を促進
- 森林組合と木材生産業者の協業を促し、伐採から植林までの一貫作業など効率的な作業の実践を支援
- 国の制度に基づいて市町村が主導する森林整備を支援し、施業の集約化を推進

II 京都府産木材の需給情報の「見える化」

- 木材加工業者の需要情報と木材生産現場の生産情報を収集、マッチングする「京都府産木材情報共有サポートセンター（仮称）」を設立し、必要な質・量の木材の確保（木材加工業者）と計画的な木材生産（木材生産現場）を実現

～伐期を迎えた京都府内森林の循環利用促進～



トピックス

平成29年度 京の食6次産業化コンテスト入賞商品が決定！

京都府産農林水産物を使用した加工食品コンテスト「京の食6次産業化コンテスト」を開催しました。44点の応募の中から、専門家やバイヤーの審査により選ばれた入賞商品をご紹介します。

グランプリ

「京さわらの旨味だし」
福島鯉(株)(京都市)



準グランプリ

「ハーブへしこ寿司」
(有)エムユーカンパニー
料亭 千代乃家(京丹後市)



特別賞

「京のべっぴん甘恋トマトジュース」
中村農園(京都市)
「丹後ばらすし 2合炊用セット」
うめや本舗(京丹後市)
「ナチュラルポップコーン完熟山椒」
京都かめよし(京都市)
「山城のねぎ ねぎベーゼ」
秋田農園(木津川市)

京の食6次産業化コンテスト [検索](#)

流通・ブランド戦略課 農業流通・販売戦略担当 TEL: 075-414-4954

ポスト育樹祭事業「森林の恵み感謝祭」を開催！

平成29年10月1日、綾部市内において「森林の恵み感謝祭」を開催しました。当日は、約500名の方にご参加いただき、育樹体験や講演会、「私たちが支える森林への想い」をテーマにした特別対談、地元高校吹奏楽部による「森林のコンサート」によって、森林の果たす役割について学んでいただきました。講演会の会場では、丹波栗を使用した焼栗の試食も行われ、森林の恩恵を体感していただきました。



松尾依里佳さんとサントリーホールディングス(株)の山田健さんによる特別対談

森づくり推進課 モデルフォレスト推進担当 TEL: 075-414-5005

水産関係施設の災害・防災対策に取り組んでいます！

府内各地に大きな被害をもたらした平成29年10月の台風第21号では、京都府の基幹漁業である定置網をはじめ、漁港などのインフラ施設が大規模に被災しました。京都府では早期の被害復旧に向け関係市町と連携した取組を迅速に進めています。

また、府内水産物の流通拠点である舞鶴漁港において、今後の地震や津波などの大災害の発生に備え、地質調査等の機能診断に着手しました。その結果を基に、災害時にも漁港・市場の機能を維持し、漁業活動が早期に再開できるよう必要な対策を進めます。



診断の対象となる漁港埠頭(平成29年10月)

水産課 漁政企画担当・漁業漁村担当 TEL: 075-414-4992
水産事務所 TEL: 0772-22-3288

シリーズ 農林水産技術センターへようこそ

京都府の研究機関の研究内容や成果をご紹介します

第5回 畜産センター 海洋センター

安全で品質の高い畜水産物生産のため、家畜の衛生管理技術や漁業の経営安定技術の開発と普及に取り組んでいます

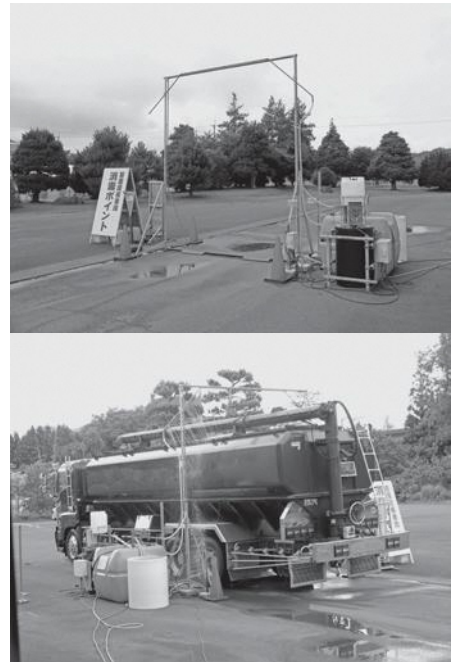
家畜伝染病を予防! ～自動式車両消毒装置を開発～

安心・安全な畜産物の生産には、ウイルス等の病原体の侵入防止が極めて重要であり、農場入口での車両消毒はその対策の基本です。

市販の自動式車両消毒装置は200万円以上と高額なため、多くの小規模な農場では手動式の消毒機材を導入していますが、手間がかかるうえに消毒が不十分になりがちです。

そこで、畜産センターでは、入手が容易な市販部材を用いて約40万円で組み立てられる自動式の車両消毒装置を開発しました。開発した装置は、生産者が自力で作成でき、光センサーで通過車両を検知し、車両の底面から天井まで消毒することができます。

既に導入を決めた農場もあり、安価で確実な防疫対策の普及を積極的に進めています。



装置全景（上）と消毒液散布の様子（下）

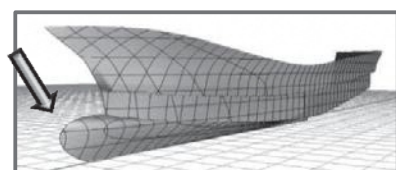
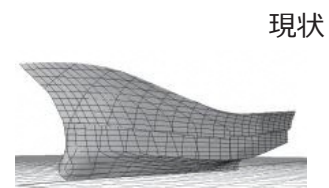
農林水産技術センター 畜産センター 研究・支援部 TEL：0773-47-0301

丹後の海の恵みを食卓へ ～底びき網漁船の省エネ操業技術を開発～

丹後の冬の味覚、ズワイガニやカレイ類などを水揚げする京都府の底びき網漁業では、近年の燃油高の影響などにより、一層のコスト削減技術が求められています。

そこで、海洋センターでは、船体を改造して水抵抗を減らしたり、推進用エンジンの回転数を抑えたりすることで、最大20%の燃費削減が可能になる省エネ操業技術を開発しました。

漁業経営の好転に向け、現地での普及活動を行っており、省エネ操業を実践する漁業者は着実に増えています。



船体改造の一例。船首に球状突起を造作することで3～5%の燃費削減が可能

農林水産技術センター 海洋センター 研究部 TEL：0772-25-3076

地域の取組

丹後

移住者の丹後らしい暮らしを実現するために ～丹後移住・定住推進会議（チーム丹後）の開催～

丹後管内の農山漁村地域等の新たな担い手となる移住者の確保と、移住者の丹後らしい暮らしを実現するために、管内2市2町、JA 京都、京都産業21、森林組合、京都移住コンシェルジュ、丹後農業研究所、水産事務所及び丹後広域振興局で組織する丹後移住・定住推進会議（チーム丹後）を平成29年7月に開催しました。

また、同月大阪で開催された「おいでや！いなか暮らしフェア」に出展し、丹後の食をはじめとした暮らしの魅力を伝えたほか、9月には先輩移住者の体験談が聞けるセミナーを開催しました。

今後もチーム丹後のネットワークを活かし、丹後への移住を推進します。



おいでや！いなか暮らしフェア
(平成29年7月)

丹後広域振興局 農林商工部 地域づくり推進室 TEL：0772-62-4316

中丹

府内初！「万願寺甘とう」が地理的表示（GI）保護制度に登録！

万願寺とうがらしは、中丹地域では大正末期頃から栽培されており、「万願寺甘とう」として京のブランド産品に認定されています。平成29年6月、国の地理的表示（GI）保護制度に京都府初、野菜では近畿初の登録を受けました。



万とうゼミほ場互見会
(平成29年6月20日)

現在、中丹管内の約16haで生産されており、本年は府事業で23棟のパイプハウス増棟を支援し、生産拡大に取り組んでいます。

また、生産者の高齢化が進む中で、府・JA等で「万とうゼミ」を開講し、14名が切磋琢磨しながら研究や技術向上に取り組んでいます。

今後、府と関係者が連携し、GI登録を活用した産地PRや生産拡大に取り組み、より一層の産地力の強化を進めます。



©(公社)京のふるさと
産品協会

中丹広域振興局 農林商工部 企画調整室 TEL：0773-62-2743

知っていますか？地理的表示（GI）保護制度

○地理的表示（GI）保護制度とは
地域で長年培われた生産地の特性により、高い品質と評価を獲得するに至った産品名称を国が登録・保護する制度です。



○地理的表示（GI）保護制度に登録されると登録産品には、「GIマーク」の使用が認められ、名称の不正使用は国が取り締まります。消費者は、国がお墨付きを与えた産品として、安心して購入することができます。

南丹

集落ぐるみで「集落診断カルテ」づくり

～南丹地域野生鳥獣被害対策診断チーム始動～

シカやイノシシなど野生鳥獣による農作物被害額は、ピーク時に比べると全体としては減少傾向にあるものの、各地域においては、まだまだその実感がもてない状況にあります。

そこで、平成29年7月に新たに「南丹地域野生鳥獣被害対策診断チーム」を立ち上げ、集落ごとの「目で見てわかる」対策強化に乗り出しました。

まずは重点集落を選定し、診断チームが現場での聞き取り調査や防護柵の点検を行い、被害状況やウィークポイントが集落の皆さんに一目でわかる「カルテ」や「マップ」を作成します。そして、集落の被害対策の問題点は何か、新たに行うことは何かを具体的に検討・提案し、集落ぐるみの被害対策に取り組んでいきます。



診断チームによる現地調査
(平成29年7月)

南丹広域振興局 農林商工部 企画調整室 TEL：0771-22-0426

山城

5,000人がお茶のテーマパークを堪能!

～へうげもの茶宴 in みかのはら(木津川市)～

平成29年度は「お茶の京都」のターゲットイヤーであり、山城地域の各市町村では、関連する様々なイベントでにぎわっています。平成29年11月3日(金・祝)、木津川市の恭仁宮跡及び海住山寺において、お茶の京都博エリアイベント「へうげもの茶宴 in みかのはら」が開催されました。

上粕の若手茶師等による「お茶ストBAR」や煎茶道方円流特別茶席をはじめとしたお茶のふるまいのほか、一坪茶室の展示や漫画『へうげもの』パネル展やお茶猫音楽祭、お茶の擬人化コスプレコンテスト、移動式屋台「キヅガワゴン」によるお茶のスイーツ・パンの販売、木津川たけのこバーガーの出店もあり、多くの来場者でにぎわいました。



一坪茶室



キヅガワゴン

山城広域振興局 農林商工部 企画調整室 TEL：0774-21-2392

京都乙訓

行事食を彩る「春の七草」

京都市北区では4年前から5戸の農家を中心に、お正月の行事食「七草がゆ」に欠かせない「春の七草」が生産されており、京都乙訓農業改良普及センターでは、ハウス互見会の開催等、技術の向上に向けた支援を行っています。

昨年は西日本の百貨店や京都市中央卸売市場に出荷され、関係者からは「鮮度が良好で消費者の評判が良い」と評価を受けています。地域の新しい産品として、本年も生産者は意欲的に取り組まれていますので、店頭でお見かけの際はぜひ御賞味ください。



七草の出荷姿(パック詰め)

京都乙訓農業改良普及センター TEL：075-315-2906

シリーズ 世界に誇れる宇治茶の魅力

第5回 宇治茶の新たな展開を目指して

宇治茶の文化的景観を
世界文化遺産に。
UJI-CHA TEA CULTURAL LANDSCAPE
AIMING FOR WORLD CULTURAL HERITAGE STATUS

宇治茶の新たな展開を進めるため、「お茶の京都博」のイベントとして、宇治茶ビジネスの裾野拡大や輸出に向けた取組促進、喫茶文化の創造を目的に「宇治茶博@産業・国際交流」を、また、宇治茶の価値の再発見と継承を目的に「宇治茶世界文化遺産シンポジウム」を開催しました。

○「宇治茶博@産業・国際交流」【11月10日(金)、11日(土)：文化パーク城陽・福寿園CHA遊学パーク】

「宇治茶ドリンク新展開キックオフセミナー」では、日本料理アカデミー地域食育委員であり、京料理清和荘三代目主人の竹中徹男氏に「世界之名物日本料理」をテーマにご講演いただきました。

- ・和食は、ユネスコ無形文化遺産に登録することで、国民全体で守っていくという気運を盛り上げた
- ・お茶を飲むことによって料理が完成するような考え方で売り込むことも必要
- ・海外へは、様々な方法で宇治茶という名前と日本茶そのものを知らせていくことが必要で、知ればいつか本物を飲みたいと思って来日し、ファンになってくれる
- ・新しい発想ができる雰囲気をつくること、強力なリーダーシップがとれること、みんなが報われる事業を信念を持って続けていくことが大切



竹中徹男氏の講演の様子

など、宇治茶と和食の相乗効果で、更なる宇治茶の発展に向けた強いメッセージを話されました。この他、会場では「宇治茶エキスポ」、「国際喫茶エキスポ」、「産業カンファレンス」なども開催し、ご来場の皆様に世界の茶文化に触れ、宇治茶の魅力を再確認いただきました。

○「宇治茶世界文化遺産シンポジウム」【11月12日(日)：同志社大学京田辺キャンパス】

ユネスコ親善大使を務める裏千家大宗匠 千玄室氏から、「お茶と世界遺産」をテーマにご講演いただきました。「お茶は『どうぞ』『お先に』と声をかける“言葉の情け”が生活に潤いを与え、人間関係を円滑にする。世界で存在感を発揮するためにも、茶の文化の力を一人ひとりがもう一度見直すことが必要」と語られました。また、続いて行われたトークセッションでは、MIHO MUSEUM 館長の熊倉功夫氏から「味や香り、健康面の良さを世界に説明する必要がある」との提言がありました。

会場では、京田辺市の水出し玉露の振る舞いや特産品の販売のほか、同志社大学茶道部による京田辺市産の抹茶の呈茶が行われました。



千玄室氏の講演の様子

農産課 宇治茶・特産振興担当 TEL：075-414-4944

お知らせ

雪に備えましょう

急な積雪でパイプハウスに被害を受けることがないように、タイバー・筋交いによる強化やスノーポールの設置、古くなったビニールの張り替え、積雪前からの加温、こまめな除雪、緊急時にはビニールを切るなど、雪害対策に取り組みましょう。



新たな原料原産地表示がスタートしました！！

改正の内容

○平成29年9月1日に食品表示基準の一部が改正され、これまでは一部の加工食品にのみ義務付けられていた原材料の産地表示が、今後は国内で製造される全ての加工食品に義務付けられました。

経過措置期間

○平成34年3月31日までに新表示に改正してください。

詳しくは、消費者庁のホームページをご覧ください、食の安心・安全推進課までご連絡ください。



食の安心・安全推進課 電話：075-414-4970

発行／平成29年12月

編集／〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入 京都府農林水産部農政課 TEL：075-414-4946 E-mail：nosei@pref.kyoto.lg.jp

京都府人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」は、「お互い支え合うことの大切さ」をイメージした歌です。

歌い広め、「いま、わたしたちのようにできること」を考えてみませんか

公式ホームページ <http://www.jinendo.co.jp/sekaigahitotsunokazoku/>